

# お金のデザイン・エッセンシャル・ プロダクト・ファンド 愛称：明日への礎

## 運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2025年9月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・ファンド」は、2025年9月10日に第3期の  
決算を行いました。  
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2022年9月28日設定）	
運用方針	「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・ファンド」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」の運用方針です。 ①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンの獲得を目指します。 ②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。 ③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」の運用方針です。 ①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンの獲得を目指します。 ②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。 ③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	ベビー・ファンド	「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」は、マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビー・ファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	



東京都中央区新川1丁目17番21号

### <照会先>

電話番号：03-6629-7090

(受付時間：委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配額)	基 準 価 額					投 資 信 託 純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 金	期 謄	中 落 率		
(設定日) 2022年9月28日	円 10,000			円 一		% —	% —	百万円 8,210
1期(2023年9月11日)	10,300			120		4.2	96.4	17,009
2期(2024年9月10日)	9,614			0		△ 6.7	97.7	6,536
3期(2025年9月10日)	10,278			1,200		19.4	95.7	4,224

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投 資 信 託 純 資 産 額
		騰	落 率	
(期 首) 2024年9月10日	円 9,614		% —	% 97.7
9月末	10,329		7.4	99.0
10月末	10,785		12.2	99.2
11月末	10,716		11.5	99.7
12月末	10,461		8.8	98.9
2025年1月末	10,590		10.2	99.9
2月末	9,950		3.5	100.1
3月末	9,807		2.0	99.4
4月末	9,412		△ 2.1	99.2
5月末	10,023		4.3	98.9
6月末	10,540		9.6	99.1
7月末	11,197		16.5	99.2
8月末	11,538		20.0	99.5
(期 末) 2025年9月10日	11,478		19.4	95.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 期中の基準価額等の推移



期 首：9,614円

期 末：10,278円(既払分配金(税込み)：1,200円)

騰落率： 19.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年9月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は表示しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+19.4% (分配金再投資ベース)となりました。

当ファンドは、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期も「食料」、「水」、「エネルギー（資源エネルギー、新エネルギー）」関連のETFに投資を行いました。このうち、ウラン関連およびレアアース関連の企業の株価が堅調に推移したこと、資源エネルギー関連のETFが大きく上昇し、ファンドの基準価額にプラス寄与しました。また、「水」、「食料」、「新エネルギー」もプラス寄与しました。

前期末に1ドル142円近辺だった米ドルは、堅調な米国経済に加えて米大統領選でインフレ的な政策を掲げるトランプ氏が勝利したこと、2024年末にかけて円安に推移しました。2025年に入ると、日銀の利上げ観測の高まりから日米金利差が縮小したことに加えて、米国による相互関税発動から、4月には一時140円台まで円高が進行しました。その後は貿易交渉の進捗や、地政学的リスクなどを受けて円安に推移し、147円台半ばで期末を迎えるました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

## 投資環境

世界の株式市場は、全体として上昇しました。期初から2025年2月にかけては、米国での利下げ決定やトランプ氏の大統領就任に対する期待感から上昇する局面もありましたが、関税強化への警戒感や一部ハイテク企業の業績懸念などから、地域や業種によってまちまちな動きとなりました。特に、2025年3月から4月にかけては、米国の関税政策発動により景気の先行き不透明感が広がり、市場は一時的に下落しました。しかし、その後は米中間の貿易交渉が進展し、関税引き下げや延期が合意されたことを受け、投資家の間に安心感が広がりました。8月には、米国経済指標の軟調さから早期利下げ観測が広がる中で、堅調な企業業績と相まって、株価は上昇して期末を迎えるました。

市場を内容的に見ると、業種や地域によって異なる結果となりました。業種別では、AI（人工知能）関連投資の拡大に支えられて半導体や情報通信関連の大型テクノロジー企業が相場を牽引しました。一方で、トランプ新政権の医療政策への不透明感からヘルスケア関連株は比較的のさえない動きとなりました。また、通期で見ると成長株に比べて割安株が劣後する傾向が見られました。地域・国別でみると、欧州では政局不安などからフランス株が他の国に比べて低いリターンとなりました。アジアでは、政府の景気刺激策への期待などから中国株が他の国に比べて比較的高いリターンとなりました。日本の株式市場は、期初から2025年4月にかけては、国内外の政治情勢、特に米トランプ政権の関税政策に大きく揺さぶられ不安定な展開が続いたものの、その後は関税交渉の進展や米国の利下げ期待などから半導体関連株や内需関連株などを中心にして上昇しました。

このような市場環境のなか、当ファンドが保有するETFはテーマ毎にまちまちな動きとなりましたが、全体としては上昇しました。テーマ別で見ると、今期は全てのテーマが上昇しました。資源エネルギー関連株式では、ウランやレアアース関連企業の上昇が目立ちました。食料関連株式では、除草剤の製造企業、農業用機械関連企業の株価が上昇しました。水関連株式では、配管設備などを手掛ける企業やインフラコンサルティング企業などが上昇しました。新エネルギー関連株式は、燃料電池装置を提供する企業や、太陽光発電設備関連の企業が上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、生きるために必要不可欠と思われる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに分散投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、各テーマに即したETFを選別し、ポートフォリオ全体に対するテーマ毎の価格変動リスクの寄与が概ね均等になるように配分比率を決定する運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2024年9月11日～ 2025年9月10日
当期分配金	1,200
(対基準価額比率)	10.455%
当期の収益	1,175
当期の収益以外	24
翌期繰越分配対象額	278

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、水、食料、エネルギーに関する企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 172	% 1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	( 85 )	(0.814)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 85 )	(0.814)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.036	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	( 4 )	(0.036)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	( 0 )	(0.001)	
(d) その他の費用	7	0.064	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 3 )	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1 )	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他の）	( 2 )	(0.022)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	183	1.751	
期中の平均基準価額は、10,445円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

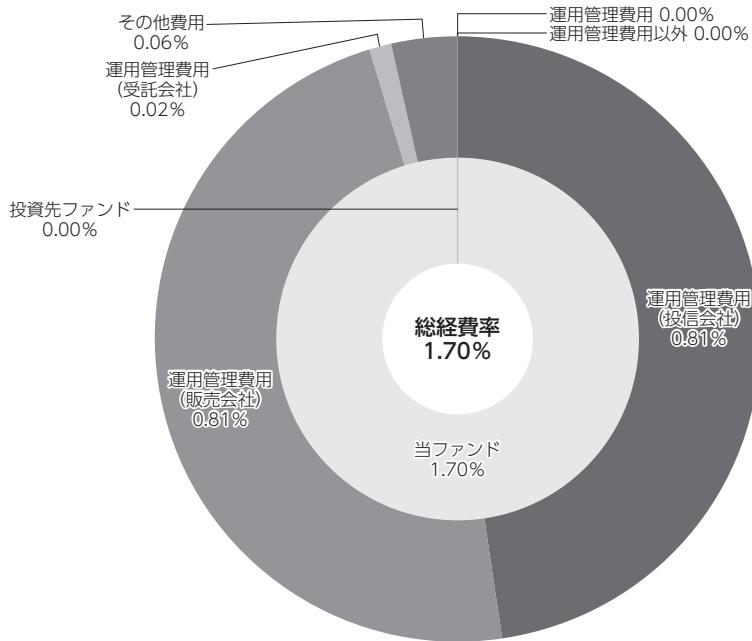
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しております。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1 口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.70
①当ファンドの費用の比率	1.70
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド	千口 11,525	千円 13,190	千口 3,130,972	千円 3,506,724

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年9月11日～2025年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年9月11日～2025年9月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2025年9月10日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	評価額
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド	千口 6,507,499	千口 3,388,053	千円 4,134,780	千円 4,134,780

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2025年9月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド	千円 4,134,780	% 86.6
コール・ローン等、その他	642,304	13.4
投資信託財産総額	4,777,084	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,042,112千円）の投資信託財産総額（4,152,016千円）に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。1米ドル=147.52円、1ユーロ=172.55円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	4,777,084,859
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・マザーファンド(評価額)	625,107,645
未収入金	4,134,780,086
未収利息	17,191,134
(B) 負債	552,282,029
未払収益分配金	5,994
未払解約金	493,242,465
未払信託報酬	17,192,387
その他未払費用	40,788,650
(C) 純資産総額(A-B)	1,058,527
元本	4,224,802,830
次期繰越損益金	4,110,353,876
(D) 受益権総口数	114,448,954
1万口当たり基準価額(C/D)	10,278円

(注) 当ファンドの期首元本額は6,798,308,337円、期中追加設定元本額は24,033,076円、期中一部解約元本額は2,711,987,537円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,0278円です。

## ○損益の状況 (2024年9月11日～2025年9月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	6,679
(B) 有価証券売買損益	6,679
売買益	858,537,745
売買損	1,076,697,522
(C) 信託報酬等	△ 218,159,777
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 93,612,996
(E) 前期繰越損益金	764,931,428
(F) 追加信託差損益金	△ 253,606,962
(配当等相当額)	96,366,953
(売買損益相当額)	( 3,433,080)
(G) 計(D+E+F)	( 92,933,873)
(H) 収益分配金	607,691,419
次期繰越損益金(G+H)	△ 493,242,465
追加信託差損益金	114,448,954
(配当等相当額)	96,366,953
(売買損益相当額)	( 3,447,143)
分配準備積立金	( 92,919,810)
	18,082,001

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(59,610,450円)、費用控除後の有価証券等損益額(423,557,935円)、信託約款に規定する収益調整金(96,366,953円)および分配準備積立金(28,156,081円)より分配対象収益は607,691,419円(1万口当たり1,478円)であり、うち493,242,465円(1万口当たり1,200円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	1,200円
----------------	--------

## ○お知らせ

- 「投資信託および投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」の記載を「運用状況に係る情報」に変更する約款変更を行いました。(2025年4月1日)

# お金のデザイン・ エッセンシャル・プロダクト・ マザーファンド

## 運用報告書

第3期（決算日 2025年9月10日）  
(2024年9月11日～2025年9月10日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2022年9月28日設定）
運用方針	<p>①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンの獲得を目指します。</p> <p>②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弹力的に変更を行う場合があります。</p> <p>③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。</p> <p>④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	<p>①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>



## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託券率	純 総 資 産 額
	期 謄	中 落	率		
(設定日) 2022年9月28日	円 10,000		% —	% —	百万円 8,210
1期(2023年9月11日)	10,580		5.8	98.4	16,662
2期(2024年9月10日)	10,044		△ 5.1	97.7	6,535
3期(2025年9月10日)	12,204		21.5	97.7	4,134

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標がないため、ベンチマークならびに参考指標は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額			投 資 信 託券率
	騰	落	率	
(期 首) 2024年9月10日	円 10,044		% —	% 97.7
9月末	10,800		7.5	99.0
10月末	11,293		12.4	98.9
11月末	11,236		11.9	99.3
12月末	10,986		9.4	98.3
2025年1月末	11,137		10.9	99.2
2月末	10,483		4.4	99.1
3月末	10,348		3.0	99.3
4月末	9,945		△ 1.0	98.9
5月末	10,603		5.6	98.5
6月末	11,164		11.2	98.6
7月末	11,873		18.2	98.6
8月末	12,248		21.9	98.8
(期 末) 2025年9月10日	12,204		21.5	97.7

(注) 謄落率は期首比です。

## ○運用経過

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 期中の基準価額等の推移

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+21.5%となりました。

当期も「食料」、「水」、「エネルギー（資源エネルギー、新エネルギー）」関連のETFに投資を行いました。このうち、ウラン関連およびレアアース関連の企業の株価が堅調に推移したことと、資源エネルギー関連のETFが大きく上昇し、ファンドの基準価額にプラス寄与しました。また、「水」、「食料」、「新エネルギー」もプラス寄与しました。

前期末に1ドル142円近辺だった米ドルは、堅調な米国経済に加えて米大統領選でインフレ的な政策を掲げるトランプ氏が勝利したことで円安に推移しました。2025年に入ると、日銀の利上げ観測の高まりから日米金利差が縮小したことと加えて、米国による相互関税発動から、4

月には一時140円台まで円高が進行しました。その後は貿易交渉の進捗や、地政学的リスクなどを受けて円安に推移し、147円台半ばで期末を迎えるました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にプラスの影響をもたらし、パフォーマンスにもプラス寄与しています。

## 投資環境

世界の株式市場は、全体として上昇しました。期初から2025年2月にかけては、米国での利下げ決定やトランプ氏の大統領就任に対する期待感から上昇する局面もありましたが、関税強化への警戒感や一部ハイテク企業の業績懸念などから、地域や業種によってまちまちな動きとなりました。特に、2025年3月から4月にかけては、米国の関税政策発動により景気の先行き不透明感が広がり、市場は一時的に下落しました。しかし、その後は米中間の貿易交渉が進展し、関税引き下げや延期が合意されたことを受け、投資家の間に安心感が広がりました。8月には、米国経済指標の軟調さから早期利下げ観測が広がる中で、堅調な企業業績と相まって、株価は上昇して期末を迎えるました。

市場を内容的に見ると、業種や地域によって異なる結果となりました。業種別では、AI（人工知能）関連投資の拡大に支えられて半導体や情報通信関連の大型テクノロジー企業が相場を牽引しました。一方で、トランプ新政権の医療政策への不透明感からヘルスケア関連株は比較的のさえない動きとなりました。また、通期で見ると成長株に比べて割安株が劣後する傾向が見られました。地域・国別でみると、欧州では政局不安などからフランス株が他の国に比べて低いリターンとなりました。アジアでは、政府の景気刺激策への期待などから中国株が他の国に比べて比較的高いリターンとなりました。日本の株式市場は、期初から2025年4月にかけては、国内外の政治情勢、特に米トランプ政権の関税政策に大きく揺さぶられ不安定な展開が続いたものの、その後は関税交渉の進展や米国の一時利下げ期待などから半導体関連株や内需関連株などを中心にして上昇しました。

このような市場環境のなか、当ファンドが保有するETFはテーマ毎にまちまちな動きとなりましたが、全体としては上昇しました。テーマ別で見ると、今期は全てのテーマが上昇しました。資源エネルギー関連株式では、ウランやレアアース関連企業の上昇が目立ちました。食料関連株式では、除草剤の製造企業、農業用機械関連企業の株価が上昇しました。水関連株式では、配管設備などを手掛ける企業やインフラコンサルティング企業などが上昇しました。新エネルギー関連株式は、燃料電池装置を提供する企業や、太陽光発電設備関連の企業が上昇しました。



## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、生きるために必要不可欠と思われる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに分散投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、各テーマに即したETFを選別し、ポートフォリオ全体に対するテーマ毎の価格変動リスクの寄与が概ね均等になるように配分比率を決定する運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指標は設定しておりません。

## ○今後の運用方針

引き続き、水、食料、エネルギーに関連する企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年9月11日～2025年9月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 ( 投資信託証券 )	円 4 (4)	% 0.036 (0.036)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 ( 投資信託証券 )	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 ( 保管費用 ) ( その他 )	3 (3) (0)	0.028 (0.028) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.065	
期中の平均基準価額は、11,009円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年9月11日～2025年9月10日)

## 投資信託証券

銘柄	買付		売付		
	口数	金額	口数	金額	
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	iShares Agribusiness UCITS ETF	4,923	229	49,675	2,343
	First Trust Water ETF	1,332	143	19,480	2,104
	First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	12,102	393	36,656	1,275
	First Trust Global Wind Energy ETF	7,874	139	71,261	1,213
	Global X Lithium & Battery Tech ETF	9,310	384	34,137	1,486
	GLOBAL X URANIUM ETF	25,863	803	85,497	2,783
	INVESCO WATER RESOURCES ETF	1,849	128	30,666	2,136
	INVESCO S&P GLOBAL WATER IND	2,509	151	33,551	2,014
	Invesco Global Water ETF	3,680	157	46,088	1,956
	INVESCO SOLAR ETF	12,146	429	28,517	1,089
	ISHARES MSCI AGRICULTURE PRODUCERS ETF	7,274	277	63,745	2,463
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	9,543	123	66,318	882
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	2,288	198	16,965	1,529
	VANECK AGRIBUSINESS ETF	2,697	197	27,892	2,013
	VanEck Rare Earth/Strategic Metals ETF	14,479	695	34,060	1,656
小計		117,869	4,452	644,508	26,950

(注) 金額は受け渡し代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年9月11日～2025年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年9月10日現在)

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
			%		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
iShares Agribusiness UCITS ETF	99,053	54,301	2,742	404,529	9.8
First Trust Water ETF	35,900	17,752	1,981	292,333	7.1
First Trust NASDAQ Clean Edge Green Energy ETF	57,357	32,803	1,221	180,256	4.4
First Trust Global Wind Energy ETF	131,779	68,392	1,274	188,062	4.5
Global X Lithium & Battery Tech ETF	55,944	31,117	1,546	228,095	5.5
GLOBAL X URANIUM ETF	102,032	42,398	1,779	262,503	6.3
INVESCO WATER RESOURCES ETF	56,310	27,493	1,954	288,282	7.0
INVESCO S&P GLOBAL WATER IND	63,100	32,058	2,023	298,506	7.2
Invesco Global Water ETF	86,930	44,522	1,981	292,303	7.1
INVESCO SOLAR ETF	45,247	28,876	1,211	178,783	4.3
ISHARES MSCI AGRICULTURE PRODUCERS ETF	123,594	67,123	2,683	395,920	9.6
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	142,460	85,685	1,233	181,893	4.4
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	30,491	15,814	1,384	204,313	4.9
VANECK AGRIBUSINESS ETF	60,649	35,454	2,636	388,968	9.4
VanEck Rare Earth/Strategic Metals ETF	48,664	29,083	1,740	256,818	6.2
合計	口数	・金額	1,139,510	612,871	27,396
	銘柄	数<比率>	15	15	<97.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2025年9月10日現在)

項目	当期末		
	評価額	比	率
投資信託受益証券	千円 4,041,572		% 97.3
コール・ローン等、その他	110,444		2.7
投資信託財産総額	4,152,016		100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（4,042,112千円）の投資信託財産総額（4,152,016千円）に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.52円、1ユーロ=172.55円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年9月10日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円 4,152,016,524
コール・ローン等	110,442,779
投資信託受益証券(評価額)	4,041,572,700
未収利息	1,045
(B) 負債	17,191,134
未払解約金	17,191,134
(C) 純資産総額(A-B)	4,134,825,390
元本	3,388,053,168
次期繰越損益金	746,772,222
(D) 受益権総口数	3,388,053,168口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,204円

(注) 当ファンドの期首元本額は6,507,499,703円、期中追加設定元本額は11,525,875円、期中一部解約元本額は3,130,972,410円です。

(注) 2025年9月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。  
・お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクト・ファンド  
3,388,053,168円

(注) 1口当たり純資産額は1,2204円です。

## ○損益の状況（2024年9月11日～2025年9月10日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円 81,840,490
受取配当金	77,502,224
受取利息	961,760
その他収益金	3,376,506
(B) 有価証券売買損益	1,012,239,752
売買益	1,045,797,487
売買損	△ 33,557,735
(C) 保管費用等	△ 1,557,837
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,092,522,405
(E) 前期繰越損益金	28,336,629
(F) 追加信託差損益金	1,664,822
(G) 解約差損益金	△ 375,751,634
(H) 計(D+E+F+G)	746,772,222
次期繰越損益金(H)	746,772,222

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

- 「投資信託および投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」の記載を「運用状況に係る情報」に変更する約款変更を行いました。（2025年4月1日）